数的理解

第5回:方程式

米田亮介 2022 年 10 月 26 日

方程式

- 値を求める問題において使われるもの
- 数学を勉強する上で必須の概念
- 解く手順
 - わからないものは文字 (x, y, a, b, ...) でおく!
 - その文字についての式 (方程式)をたてる!
 - その方程式を解く!
- 問題文にある条件を方程式に落とし込まないといけない!!

方程式 (文字式) に関する復習

- 分配法則: (a+b)x = ax + bx
 - (1+2)x = x + 2x = 3x
 - $3(x+2y) = 3x + 3 \cdot 2y = 3x + 6y$
- 同じ文字の項の和は係数について足せばよい (分配法則の逆)
 - \bullet x + x = 2x
 - 3a + 4a = 7a
 - 5y 5y = 0
- 異なる文字が混ざる場合、同じ文字のみで計算する
 - (a+2b) + (4a-2b) = 5a
 - (x-y) 3(2x+y) = -5x 4y
- 方程式は**両辺**を何倍しても**両辺**に何を足しても同じである。
 - $x + y = 100 \rightarrow y = 100 x$
 - $20x + 40y = 100 \rightarrow x + 2y = 5$

1 本 120 円のボールペンと 1 本 30 円の鉛筆を合わせて 10 本買ったところ、合計金額は 660 円であった。ボールペンは何本買ったか。

1 本 120 円のボールペンと 1 本 30 円の鉛筆を合わせて 10 本買った ところ、合計金額は 660 円であった。ボールペンは何本買ったか。

ボールペンの本数をx本、鉛筆の本数をy本とする。このとき、

$$x + y = 10$$

である。また、合計金額が660円より

$$120x + 30y = 660$$

である。これを解くと、x=4,y=6 である。よってボールペンは 4 本買った。

50 円玉、100 円玉、500 円玉が全部で 15 枚あり、合計額は 2400 円 だった。50 円玉と 100 円玉の枚数が同じであるとすると、500 円玉は何枚か。

50 円玉、100 円玉、500 円玉が全部で 15 枚あり、合計額は 2400 円だった。50 円玉と 100 円玉の枚数が同じであるとすると、500 円玉は何枚か。

50 円玉の枚数を x 枚とすると、100 円玉の枚数も x 枚である。また、500 円玉の枚数を y 枚とする。このとき、

$$x + x + y = 2x + y = 15$$

である。また、合計額が2400円なので、

$$50x + 100x + 500y = 150x + 500y = 2400$$

である。これを解くと、x=6,y=3 である。よって 500 円玉は 3 枚である。

あるレストランでは、日替わりランチを 980 円、パスタを 850 円、それぞれ追加メニューとしてドリンクを 200 円、デザートを 300 円で提供している。また、クーポンを 1 枚利用するとドリンク 1 杯が無料になる。9 名のグループで、いずれも日替わりランチかパスタを注文し、4 名がドリンク、2 名がデザート、3 名がドリンクとデザートを追加し、クーポンを 5 枚利用したところ、合計が 9940 円になった。パスタを注文したのは何人か。

あるレストランでは、日替わりランチを 980 円、パスタを 850 円、それぞれ追加メニューとしてドリンクを 200 円、デザートを 300 円で提供している。また、クーポンを 1 枚利用するとドリンク 1 杯が無料になる。9 名のグループで、いずれも日替わりランチかパスタを注文し、4 名がドリンク、2 名がデザート、3 名がドリンクとデザートを追加し、クーポンを 5 枚利用したところ、合計が 9940 円になった。パスタを注文したのは何人か。

日替わり、パスタをそれぞれ x,y 人が注文したとすると x+y=9 である。また、合計が 9940 円より、

 $980x+850y+200\times4+300\times2-(300+200)\times3-200\times5=9940$ である。これを解くと、x=6,y=3 である。よってパスタを注文したのは 3 人である。